

野間光辰 のち 國文學者。明治四十一年十一月七日兵庫縣生れ、昭和二十二年四月二十日没（一九九一―八七）。號松壽、般庵。京都帝國大學文學部卒。浪速高等學校教授を經て、京大教授。井原西鶴研究の權威と目せられる。

著書に『西鶴新攷』（昭和二十二年六月二十日筑摩書房）、『日本のコント』（合著、昭和二十七年七月二十日毎日新聞社）、『芭蕉翁全伝―上野真筆之写 日人筆』（編、昭和二十七年十月一日京都・友山文庫）、『西鶴論叢』（編、昭和五十年九月二十日中央公論社）、『西鶴新新攷』（昭和五十六年八月二十四日岩波書店）等。

